ねんきんだより Pensions News

令和６年度国民年金保険料額
月額１６，９８０円

学生納付特例申請

４月から令和７年３月までの学生納付特例申請を受け付けます。申請するかたは、令和５年中の所得の申告またはご家族の扶養申告の手続きを済ませてください。

持参するもの

▶年金手帳または基礎年金番号通知書（すでにお持ちのかたのみ）
▶新学年の学生証または令和６年度の在学証明書

※令和５年度に特例の承認を受け、令和６年度も引き続き在学予定のかたに対し、３月下旬にはがき形式の申請書が送付されます。同一の学校に在学の場合は、必要事項を記入し返送することで、令和６年度の申請ができます。（この場合、在学証明書または学生証の写しの添付は不要です）

一般免除・納付猶予

７月１日から受け付けます。申請するかたは必ず令和５年中の所得の申告を済ませてください。

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

クリーニングの受渡し必ず状態の確認を

【事例】

ジャンパーを７か月前にクリーニングに出した。すぐに引き取ったが、仕上がりの状態を確認せずにクローゼットにしまい、先日着ようとしたら、ジッパーの布地が引きつっていて着られる状態ではなかった。クリーニング店に伝えると「半年以上前の苦情を言われても、引き取った後の事故か、クリーニングの問題かは分かりません」と言われた。
（70歳代 男性）

【ひとこと助言】

クリーニングによるトラブルは、複数の要素が重なって発生することもあるため、原因の特定が難しく、時間がたつと解決がより難しくなります。クリーニングに出すとき、受け取るときは、必ず衣類の状態や処理方法を店舗側と一緒によく確認しましょう。

「クリーニング事故賠償基準」を使用してトラブルの対処をする店舗もありますが、使用していない店舗もあります。

「クリーニング事故賠償基準」に基づき賠償される場合は、購入時からの経過月数などが勘案されるので、購入時の金額が戻ってくるわけではありません。

困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
４月７日（日）	三浦医院 ６２－２９１７	うえの医院 ７２－３３３０	小曽根整形外科 ７２－７７０７	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
４月14日（日）	館林記念病院 ７２－３１５５	堀越医院 ７３－４１５１	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
４月21日（日）	みづほクリニック ２０－１１２２	横田医院 ７２－０２５５	澤田皮膚外科 70－7703	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
４月28日（日）	竹越医院 ８４－３１３７	明和赤ちゃんこどもクリニック※ ８４－１１６６	明和セントラル病院 ８４－１２３４	－
４月29日（祝）	ハートクリニック ７１－８８１０	阿部医院 ６２－５４２８	館林医院 ７４－２１１２	－
５月３日（祝）	まりレディスクリニック ７６－７７７５	神尾内科医院 ７５－１２８８	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－
５月４日（祝）	森下内科医院 ７３－７７７６	藤原医院 ８８－７７９７	高木整形外科（午前のみ） ６２－６６１１	－
５月５日（祝）	県西在宅クリニック館林 ５５－３８１８	たけい小児科･アレルギー科※ ７６－２５２５	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
５月６日（振休）	後藤内科医院 ７２－０１３４	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	ふじの木整形･内科クリニック ９１－４０７０	

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院（内科系･外科系）　☎７２－３１４０
◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ☎７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分）
群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　☎０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外）
◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科･小児科）午後７時～10時（日･祝、年末年始除く）
☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。
●感染症の流行状況により、電話がつながりにくい場合や診察に時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。

Face フェイス

会話から気持ちを理解し患者と家族のための看護師に

祖父の療養生活が看護師を目指すきっかけに

寺﨑柊人さん

てらざき　しゅうと　　20歳

朝日野在住

オートバイに乗ることも好きで、よくツーリングに出かけるそうです。

看護師を目指す

今年度二十歳を迎えた寺﨑さんは、将来看護師になるために、医療系の専門学校に通っています。

看護師を目指すきっかけとなったのは、祖父が自宅での療養生活を送っているのを見ていたことや、姉が先に看護師の道を目指していた影響があったということです。

患者さんのための看護を目指して

昨年、祖父を看取ると、多くの患者さんのために働きたいという思いは、ますます強まったということです。

学校での知識の習得はもちろん、病院などでの実習で、実際の患者さんに触れることで、仕事の難しさや重要性に改めて気づくそうです。患者さんとの会話から気持ちを理解したり、患者さんの家族への寄り添い方など、まだまだ学ばなくてはならないことが多いと、気を引き締める毎日だそうです。

人との関わりが好き

そんな寺﨑さんですが、休みの日には家業の飲食店で、店の手伝いをしています。気さくな人柄で、お客さんからの評判も上々です。

また、趣味も多く、クランプダンスという、ダンスバトルの大会に出場したこともあるそうです。

とにかく人と関わることが好きだということで、みこしの会にも所属したり、町民体育祭のリレー選手を任されたり、ボランティア活動にも参加しているということです。

そんな寺﨑さんを見ていると、これからの板倉町を支える青年となってくれる印象を強く持ちました。

レポーター
広報編集委員
間明田憲志（まみうだ のりゆき）